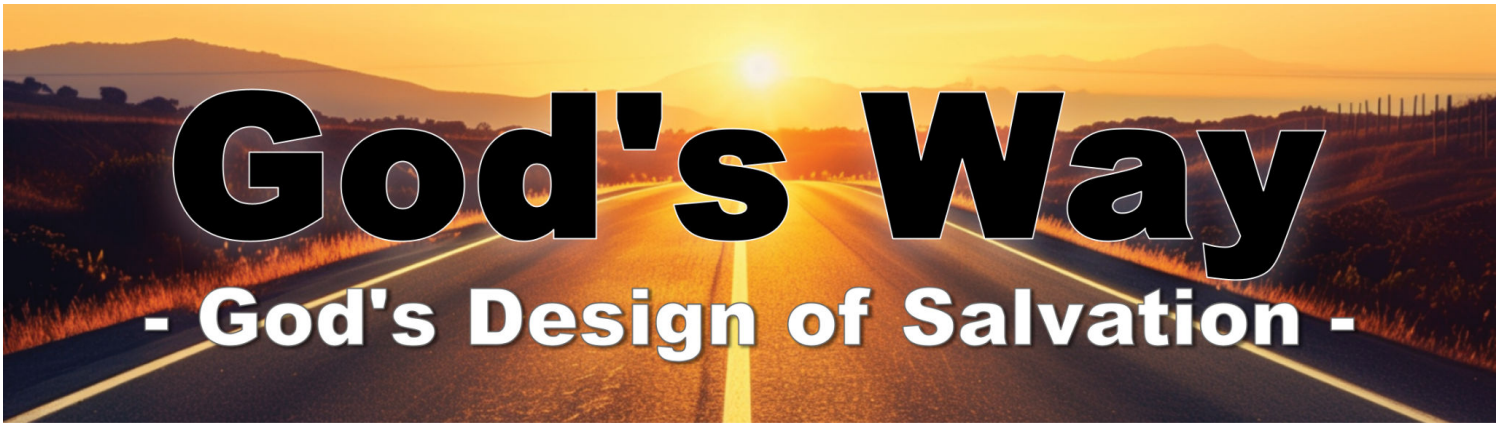


Week of May 31, 2026 - The Depravity of Man　　Small Group Lesson 4

知り合う

周りのみんなが拍手喝采しているからという理由だけで、本当は面白いと思っていないジョークで笑ってしまったり、心の中では反対している意見にうなずいてしまったりした経験はありませんか？
自分一人だけが拍手をせず、周囲に同調しないでいることは、なぜこれほどまでに難しいのでしょうか。

聖句　ローマの信徒への手紙 1:26-32（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

26 それで、神は彼らを恥ずべき情欲に任せられました。女は自然な関係を自然に反するものに替え、27 同じく男も、女との自然な関係を捨てて、互いに情欲を燃やし、男どうしで恥ずべきことを行い、その迷った行いの当然の報いを身に受けています。

28 彼らは神を知っていることに価値があると思わなかったので、神は、彼らを無価値な思いに渡され、そのため、彼らはしてはならないことをするようになりました。29 あらゆる不正、邪悪、貪欲、悪意に満ち、妬み、殺意、争い、欺き、邪念に溢れ、陰口を叩き、30 悪口を言い、神を憎み、傲慢になり、思い上がり、見栄を張り、悪事をたくらみ、親に逆らい、31 無分別、身勝手、薄情、無慈悲になったのです。32 彼らは、このようなことを行う者が死に値するという神の定めを知っていながら、自らそれを行うばかりか、それを行う者を是認さえしています。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 26～27節は、この男女がどのような状態に陥ってしまったかを説明しています。彼らが犯した間違い (過ち) とは何でしょうか？ (28節を参照してください)

2. 29～31節に書かれているような様々な悪事（不義）を行うのは、どのような人たちでしょうか？

3. 32節に書かれている、神の正しい裁き（刑罰）とは何でしょうか？

4. このような事を行う者たちは、神を無視したことへの刑罰（裁き）を知っているにもかかわらず、どのようにして他の人々にも悪を行うように奨励する（そそのかす）のでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

人間社会は、単に罪を犯すだけでなく、罪を行う人々を積極的に是認し、拍手喝采するようになっていきます。私たちクリスチャンは、社会から完全に孤立（引きこもり）することなく、このような文化の変化に流されて麻痺してしまわないように、どのように自分の心を守ることができるでしょうか？

話し合い　その2：

数千年にわたって法律や道徳教育が社会（の根本的な問題）を解決できなかったとすれば、イエスへの信仰と、その義を受け取ることが、どのようにして信者をこの社会の縛りから救い出すのでしょうか。 この地上での現在の歩み、そしてやがて来る次の世（天国）において、それぞれどのように成し遂げられるのでしょうか。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。